

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)

〒310-0911 水戸市見和 1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273

ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>

県私保連のさらなる発展と 子どもたちの健全な成長のために



平成26年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
会長 関 正 樹

私保連は、学校教育における私立学校の重要性に鑑み、生徒保護者の立場から私立学校関係団体と

緊密な連携を保ち、これらの団体とともに私立学校の振興及び青少年の健全育成に努め、私立学校の充実及び発展に寄与することを目的に設立されました。

各私立学校が建学の精神に基づき、それぞれ特色のある独自の教育を展開し、より良い教育環境の整備と充実を図ることにより、茨城県全体の教育力を向上させるべく事業活動を行っております。

具体的な事業活動につきましては、次ページ以降掲載の平成26年度 活動報告を参照いただきたいと思います。しかしながら、これら多岐にわたる活動が実施できるのは、会員保護者の皆様のご理解とご支援の賜であり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

さて、この1年間様々な活動を通して多くのことを学ばせていただきました。特に昨年8月の「関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会」の代表者会及び研修会が、水戸の地で開催されたことを大変喜ばしく光栄に思っております。県私学協会会長 大窪範光様をご来賓にお迎えし、関東6県から140名を超える多くの皆様にご参加い

ただきました。各県の活動報告、情報交換を通して共通の課題と固有の課題の存在を知り、大いに刺激を受けたことを鮮明に記憶しております。また懇親会では、茨城県知事 橋本昌様にご臨席いただき、各県関係者の皆様と活発な意見交換をさせていただきました。茨城県産品を取りそろえた料理と、料理に合わせた地酒を用意し、参加された皆様に茨城の味を多いに堪能いただきました。皆様のご協力のおかげで、茨城ならではのおもてなしができたものと思っております。

あらためて、私保連の事業内容は、

「生徒の健全育成のための諸施策や事業に対する協力」

「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動の推進」

「私立学校関係団体との連携及び提携」

「会員相互の研修及び広報活動」

等が挙げられます。

平成27年度も、皆様のより一層のご支援ご協力により、子どもたちの健全育成、私立学校の充実にご与できる事業活動を行って頂くことを期待しております。

結びに、私保連役員の皆様、各学校代表の幹事の先生方、私学協会、事務局の皆様には多大なるご尽力とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。県私保連のさらなる発展と子どもたちの健全な成長を願い、筆を置かせていただきます。1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

平成 26 年度役員

会長 関 正樹 (茗溪学園中学校高等学校父母会会長)
副会長 薄井恵津子 (大成女子高等学校父母の会副会長)
副会長 柴田 淳 (茗溪学園中学校高等学校校長)
理事 村田 雅彦 (茨城キリスト教学園中学校肩羊会会長)
理事 齋藤 毅 (東洋大学附属牛久高等学校 PTA 会長)
監事 加倉井まり子 (水戸英宏中学校教育後援会会長)

監事 田中久美子 (水戸英宏中学校理事長・校長)
幹事 吉田 潤 (茗溪学園中学校高等学校副校長)
幹事 大津 雅幸 (大成女子高等学校教諭)
幹事 赤津 邦子 (茨城キリスト教学園中学校教諭)
幹事 石島 啓 (東洋大学附属牛久高等学校教諭)
幹事 若生 剛 (水戸英宏中学校教諭)

26年度 活動報告

会議等

- (1) 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会・教育懇親会（6月13日 於：ホテルレイクビュー水戸）

総会議事に先立ち、県総務部総務課私学振興室から「本県の私学助成について」の説明をいただきました。続いて総会議事に入り、平成25年度事業報告及び収支決算報告が行われ承認されました。次に、新たに県私保連功労者表彰規程を制定する提案があり原案どおり承認されました。続いて平成26年度新役員が選出され、平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)の審議が行われました。また、平成26年度関東地区私学保護者会連合会代表者会議及び研修会(茨城県開催)の計画案が示され、最後に26年度功労表彰受賞者29名への功労者表彰で総会を終了しました。その後、同会場で会員校の保護者会の情報交換を兼ねた懇談会が開催され、有意義な時を過ごすことができました。

- (2) 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会総会・研修会（7月11日～12日 於：大阪府）



「今こそ私学からの発信～教育が未来を拓く～」サブタイトル「二十一世紀（あす）を担う子ども達のために」をテーマに総会が開催されました。本県からは関会長・薄井副会長をはじめ、7名が参加しました。初日は総会后、「私学振興と保護者の役割」というテー

マで日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会副会長の近藤彰郎先生の講演があり、自身の経験から私立女子校ならではの苦労話や学校経営の観点から私学助成の大切さと自助努力が必要とのお話でした。

二日目は元大洋ホエールズ（現横浜ベイスターズ）高木豊氏の「夢を追う子ども達の親として」の講演があり、現役時代の苦労話やエピソードを交え、子ども自身が自ら判断できるよう、親として子どもが興味を持ったことに寄り添い応援することが子ども達の夢をあきらめない心を育てるとのお話でした。午後からは京都市内を見学し充実した二日間でした。

- (3) 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会

（8月29日 於：ホテルレイクビュー水戸）

ホテルレイクビュー水戸を会場に、関東地区（千葉・神奈川・埼玉・群馬・栃木・茨城）の私立学校保護者会の連絡協議会及び研修会が開催されました。当日は橋本県知事をはじめ、145名の皆様に参加されました。各県からの報告事項の後、研修会になり、水戸ホーリーホックゼネラルマネージャー萩原武久氏から、「スポーツと教育～サッカーから見る人間形成～」という演題で実体験に基づいたお話を伺いました。

最後に部活動発表として、大成女子高等学校吹奏楽部の演奏があり、多くの方々の賞賛を頂きました。



県私保連研修会

11月14日、ホテルレイクビュー水戸において県私保連の研修会が開催されました。講師に水戸市植物公園園長の西川綾子氏を迎え、「楽しく植物について学ぶ体験学習」という演題で講演していただきました。その後、水戸市植物公園に移動し、先生のお話を伺いながら、公園内を見学しました。



善行生徒表彰



11月14日県私保連研修会において善行生徒表彰を行いました。薄井副会長から活動内容の紹介があり、関会長より表彰状が授与されました。今後、このような社会貢献がますます盛んになることを期待しています。

- 茗溪学園中学校高等学校 [石巻、絆プロジェクト]
〔社会福祉活動〕
東日本大震災の被災地である石巻市を継続的に訪問し、地域住民との交流を行った。
- 水戸啓明高等学校 [ビッグバンド部]
〔地域文化の向上活動〕
薬物乱用防止の街頭キャンペーンや老人ホーム等での演奏活動を行った。
- 江戸川学園取手中・高等学校 [吹奏楽部]
〔地域文化の向上活動〕
老人保健施設や幼稚園での演奏活動やいばらき高文祭の吹奏楽部門に積極的に取り組んだ。
- 江戸川学園取手中・高等学校 [合唱部]
〔地域文化の向上活動〕
取手市合唱連盟に所属し、市内の合唱団との「ふれあいコンサート」に出演し地域文化の向上に貢献した。
- 明秀学園日立高等学校 小林 匠 (高校3年)
〔緊急時貢献活動〕
歩道でうずくまっていた年配の女性に対し、救急の指示のもと止血処置を行ない救急車が到着するまで付き添った。
- 常磐大学高等学校 藤田 龍希 (高校3年)
〔国際貢献活動〕
「国際交流生フォーラム」での留学生との交流やカンボジアでのボランティア活動で現地の子供達に英語を教えるなど国際交流活動に参加した。

- 鹿島学園高等学校 明田川 諒 (高校3年)
〔緊急時貢献活動〕
校門前に倒れていた年輩の女性に対する救助や自宅まで付き添うなど迅速な対応をした。
- 水戸英宏中学校 木村 朱里・高橋 伶衣 (中学2年)
〔その他の活動〕
常陸太田市青年会議所主催「久慈の森 100Km 徒歩の旅」にボランティア員として参加し、小学生の指導にあたった。
- 水戸英宏中学校 荘司 拓矢 (中学2年)
〔社会福祉活動〕
乳幼児・小学生とその保護者を対象に開催された「夏休み親子サロン」にボランティア員として参加し、子ども達の創造力等の育成に取り組んだ。
- 土浦日本大学中等教育学校 磯貝 映奈 (中等教育学校6年)
〔社会福祉活動〕
ピースボート災害ボランティアセンターに所属し、宮城県石巻市で「仮設きずな新聞」記者や配達といったボランティア活動を行った。
- 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 佐子川みのり (高校3年)
〔社会福祉活動〕
中学2年生の時の市主催の手話講座に参加したことをきっかけに、市社会福祉協議会主催の「高校生ボランティア」に毎年参加し、地域に貢献している。
- 江戸川学園取手高等学校 齋藤 直哉 (高校1年)
〔社会福祉活動〕
北海道で行われた「第41回難病患者・障害者と家族の全道集会」での会場誘導や介助・受付を行った。
- 江戸川学園取手中学校 齋藤真里奈 (中学1年)
〔地域文化の向上活動〕
「守谷きずな太鼓」に所属し、介護施設での演奏など地域行事に参加して和太鼓の伝統芸能の伝承活動をしている。
- 茨城キリスト教学園高等学校 倉田 舞夢 (高校3年)
〔その他の活動〕
中学二年次からタヒチに伝わる「タヒチアン・ダンス」の技術習得に努め、地域行事への参加を通じて伝統芸能の継承に努めている。
- 茨城キリスト教学園高等学校 田名部一貴 (高校3年)
〔地域文化の向上活動〕
日立市の成沢鹿島神社に伝わる「成沢ささら」という獅子舞の後継者への伝授指導、地域行事への参加など伝統芸能の継承活動をしている。

以上 10校：個人8名・団体4団体

私学助成に関する請願・陳情



県私保連役員は私学協会の役員とともに以下の請願・陳情を行いました。

なお、12月2日に予定されていた私学振興全国大会と茨城県選出国会議員への陳情は総選挙のため、中止されました。



- 11月6日 県議会・自民党県連への請願・陳情 (県議会 自民党議員室)
- 12月5日 県知事への陳情 (県庁5階 知事応接室)
- 県総務部長への陳情 (県庁7階 総務部長室)

要望事項

- 1 経常費補助金について
- 2 高等学校等就学支援金の改善充実と授業料減免事業の拡充について
- 3 教職員研修に係る補助金について
- 4 教職員退職手当助成金に係る補助金について

請願審査結果

平成26年11月14日付で県議会議長より、「私立高等学校等経常費助成に関する請願」は、平成26年第4回定例会において採択された旨、通知がありました。

県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会（略称「県私保連」）は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和 57 年、全国私学父母の会（現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」）と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成 19 年には、現在の名称に変更し、発足から茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校 PTA 連合会私学部会（略称「私学部会」）の私学三団体が連携・協調して私立中学高等学校等経常費等助成に関する請願・陳情等の活動をしてまいりました。

平成 22 年 5 月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連が設立しました。

各私立学校が「建学の精神」に基づきそれぞれの特色ある教育を展開しながら協調し、より良い教育環境を確保・整備していくことが茨城県全体の教育力を向上させることと確信し、その一翼を担うため、今後とも学校とさらに協力していくことが県私保連の使命と考えます。

また、県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介。

私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されています。

平成 26 年度は高校生 1 人当たり 333,607 円*（中等教育学校後期課程同額）・中学生 1 人当たり 309,581 円（中等教育学校前期課程同額）の補助金が交付されました。

※補助単価は標準額。学校の規模（生徒数、教職員）等により異なります。

生徒 1 人当たりの補助金額推移

県私学振興室資料（単位：円）

学 校 種		25 年度	26 年度	27 年度
高 等 学 校		332,100	333,607	340,044
中 等 教 育 学 校	後 期			
	前 期	305,856	309,581	313,449
中 学 校				
通 信 制 高 等 学 校（狭 域 通 信 制）		66,162	67,030	67,927

※通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は国からの直接補助になります。

私立高等学校等就学支援金

家庭の経済状況にかかわらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されています。平成 26 年 4 月以降の入学生からは所得制限を設け、年収 910 万円未満世帯の生徒に対して支給されています。

なお、平成 26 年 3 月以前から引き続き高校等に在学する者については旧制度が適用されます。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収 910 万円未満世帯に、月額 9,900 円（年額 118,800 円・県立の授業料相当分）支給されます。
- ・保護者の年収に応じて一定額加算（1.5 ～ 2.5 倍）されます。

県私学振興室資料（単位：円）

保護者の年収の条件	新制度（H26 年度入学生から）		旧制度（H25 年度以前の入学生）	
	支給額（年額）	加算区分	支給額（年額）	加算区分
250 万円未満	297,000	2.5 倍	237,600	2 倍
250 ～ 350 万円	237,600	2 倍	178,200	1.5 倍
350 ～ 590 万円	178,200	1.5 倍	118,800	一 律
590 ～ 910 万円未満	118,800	一 律		
910 万円以上	—	—		

※年収は、保護者の内どちらか一方が働き、高校生 1 人（16 歳以上）、中学生 1 人の 4 人世帯の目安です。



私立高等学校等授業料減免事業

経済的理由により授業料の納入が困難な生徒の就学機会を確保するため、高等学校等就学支援金に上乗せして授業料減免措置を実施している私立学校に対して県から補助金が交付されています。

なお、授業料減免事業の年収の条件は、平成26年3月以前から引き続き高校等に在学する者については425万円未満まででしたが、4月以降の入学生から590万円未満までに拡充されるとともに、収入の確認方法が就学支援金と統一されています。

- (注) 1 私立学校によっては独自の奨学金制度を実施していることなどから、この事業を実施していない学校があります。
 2 平成26年3月以前から高校等に在学する者については旧制度が適用されます。

県私学振興室資料

保護者の年収の条件	県からの補助額（私立高等学校・全日制課程の場合）
350万円未満	保護者の年収区分による就学支援金支給額と県平均授業料（年額301,000円）との差額（1割学校負担）を補助
350～590万円未満	保護者の年収区分による就学支援金支給額と年額180,000円との差額（1割学校負担）を補助



私立高等学校等奨学給付金

すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（非課税世帯）の生徒に対して奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費等）が県から支給されています。

- (注) 1 保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。
 2 平成26年4月以降の入学生から段階的に実施されています。
 3 平成27年4月から生活保護受給世帯の通信制に通う生徒に給付金が新たに支給されるとともに、第1子の高校生等がいる世帯の高校生への支給額が増額されます。

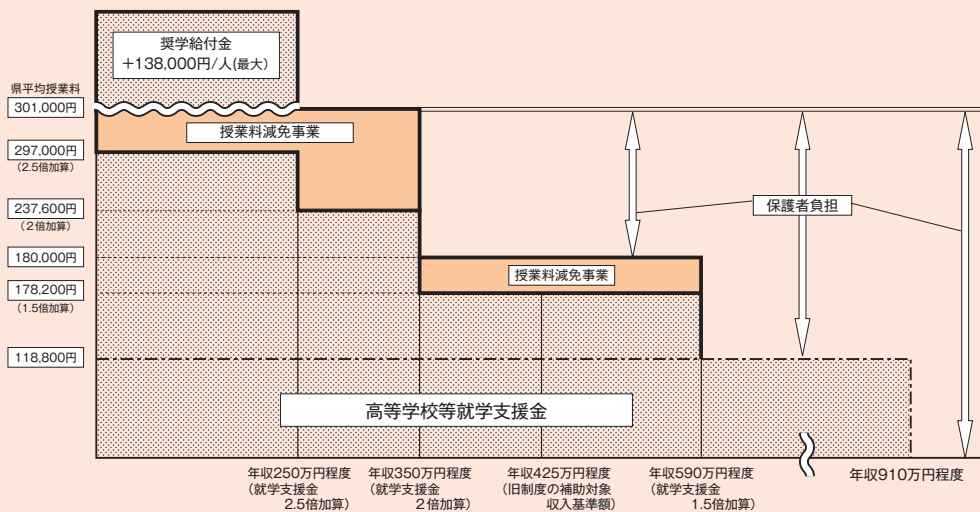
県私学振興室資料（単位：円）

区 分	奨学給付金支給額（年額） ※（ ）は通信制
生活保護受給世帯	52,600（52,600）
第1子の高校生等がいる世帯	39,800（38,100）
23歳未満の被扶養者がいる世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯	138,000（38,100）

参考

私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図

保護者の年収350万円未満世帯の場合、就学支援金及び授業料減免により、県平均授業料（年額301,000円）までが実質無償化されます。



- (注) 1 奨学給付金は授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費を支援する事業
 2 就学支援金及び授業料減免事業は授業料の負担軽減する事業
 3 授業料減免事業には学校負担（1割）を含む
 4 年収は、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の目安
 5 H26年度入学生から学年進んで実施（H25年度以前の入学生については、旧制度を適用）

会員校紹介

茨城キリスト教学園中学校

本校のPTAは「肩」、「羊」、「会」と書いて「けんようかい」と言います。「百匹の羊の中から逃げ出した一匹の羊を神様は見つけ出すまで捜し、喜んで肩に担いで帰ってくる。」という聖書の言葉に由来しており、「一人一人を大切に育みましょう。」という思いが表れています。

毎年11月3日の学園祭には保護者全員参加による模擬店とバザーを行い、けんちん汁、カレー、パフェ等、活気溢れるお店が中学校エリアを盛り立てます。お母様方手作りの「キリ中人形」は、抽選で購入者が決められる程の人気商品です。また、校章入りスイーツ「キリ中どらやき&カステラ」も好評を頂いています。

昨年の教育講演会には戦場カメラマンの渡部陽一氏をお願いし、平和の尊さについて親子共に学ぶことができました。

肩羊会活動を通して生まれる保護者同士の繋がりや学校と家庭との連携を大切に、子供達のためにより良い教育環境作りの為、楽しく活動していきたいと思っています。



東洋大学附属牛久高等学校

本校は平成26年には創立50周年を迎え『学校が大きく変わる』節目の年となりました。27年4月より附属中学校の1期生を迎え、新たな時代への扉が開かれました。

また、平成26年度には文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイト校の指定を受け、豪州サウスオーストラリア州のアデレードへの生徒派遣など、グローバル教育にも、より一層の力をそそいでおります。

平成27年2月には近代的な施設設備の整った新校舎1号館南館が完成し、生徒たちは恵まれた教育環境での充実した高校生活を送っております。

一方、部活動では世界ユース出場や全国高等学校総合体育大会、全国選抜大会出場など成果を出しております。

PTA活動に於きましては地域支部では大学のキャンパス見学だけでなく、歌舞伎や、劇団四季ミュージカルの観劇、工場見学など支部内での保護者間や担当教員との連携・交流を深めるための積極的な活動が行われてい

ます。また、PTA本部では文化祭(創造祭)時のPTA主催のバザーの運営や、PTA講演会(26年度は女子マラソンの有森裕子さん)など学校行事へ積極的に取り組み、各委員会の取りまとめのほかに、県高P連の各大会や研修会にも積極的に参加して、自校への活動へ還元できるよう努力してきました。

年3回発行されるオールカラーのPTA便り『Olive(オリーブ)』も23号を迎えました。季節ごとのPTA活動を各支部の保護者から報告いただいたり、学校行事や学校の取り組み、部活動の結果報告など盛りだくさんの内容で好評をいただいております。



会員 27年4月現在 25保護者会

明秀学園日立高校・茨城キリスト教学園高校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高校・常磐大学高校・茨城高校中学校・水戸女子高校・水戸啓明高校・水戸葵陵高校・水戸英宏中学校・水城高校・清真学園高校中学校・鹿島学園高校・岩瀬日本大学高校・つくば国際大学高校・霞ヶ浦高校・土浦日本大学高校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久高校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高校・江戸川学園取手中学校高校・常総学院中学校高校・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高校・茗溪学園中学校高校・つくば秀英高校

27年度の活動予定

6月5日	総会及び教育懇談会
7月17日～18日	日私学保連代表者会議及び研修会(東京都)
8月28日	関東地区私学保連代表者会及び研修会(千葉県)
11月11日	善行生徒表彰及び研修会(ホテルレイクビュー水戸)
12月1日	私学振興全国大会(日比谷公会堂)

編集後記

「私学いばらき」第5号をお届けいたします。昨年度に引き続き、私学助成への請願・陳情等の活動をして参りました。また、関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会及び研修会「茨城大会」開催にあたり、多くの皆様にご協力をいただきました。おかげさまで、盛会のうちに終えることができました。関係各位にお礼申し上げます。